

再 評 価 書

事業名	森林整備事業	事業区分	林道西出菅合線	課名	農林水産部 治山林道課 松阪農林商工環境事務所																												
事業概要	工期 (下段：当初)	平成9年～32年 平成9年～26年	全体事業費	2,530百万円(負担率：国50、県50) 2,271百万円(負担率：国50、県50)																													
事業目的及び内容																																	
<p>(1) 所在地 多気郡大台町菅合地内の県道大宮宮川線を起点とし、度会郡大紀町阿曾地内の町道を終点とします。</p> <p>(2) 事業の目的 地域の路網形成の骨格となる林道として、作業道等と一体的な路網を形成し、林業生産活動の活性化による森林資源の有効利用、森林施業の促進による公益的機能の維持増進を図ります。</p> <p>(3) 全体計画 ① 延長：13,462m ② 幅員：4m ③ 事業費：2,530,000千円(187千円/m) ④ 事業期間：平成9年度～平成32年度(24年間)</p> <p>(4) 利用区域の森林資源の状況 当該路線の利用区域面積は1,022ha、そのうち人工林764haで、人工林率は75.0%です。 人工林の97%が16～60年生の間伐対象の森林です。</p>																																	
事業主体の再評価結果																																	
<p>1 再評価を行った理由 平成19年度に、三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。再評価実施後5年を経過しましたので同要綱に基づき再評価を行いました。</p>																																	
<p>事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>(1) 事業着手 平成9年度全体計画調査実施、大台町菅合工区で工事着手</p> <p>(2) 進捗状況(平成23年度末の事業量) ①完成延長：9,581m(進捗率71%) ②事業費：1,755,586千円(進捗率69%)</p> <p>(3) 課題 地形が急峻であり、土質が予想以上に脆弱なことから法面崩壊が発生しやすく、現在までに法面保護の経費が多額にかかり、現在の事業計画期間及び、全体事業費では完成が困難な状況です。</p> <p>(4) 利用区域内の森林整備の状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">計画</th> <th colspan="2">H24調査時点</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>整備面積</th> <th>うち間伐</th> <th>整備面積</th> <th>うち間伐</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H9～13</td> <td>145ha</td> <td>57ha</td> <td>165ha</td> <td>117ha</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H14～18</td> <td>220ha</td> <td>154ha</td> <td>128ha</td> <td>101ha</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H19～23</td> <td>113ha</td> <td>87ha</td> <td>162ha</td> <td>162ha</td> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) その他利用区域内の状況 平成14年度には、森林所有者が自力で作業道を開設し利用間伐を実施しました。 1路線 開設延長 L=250m 間伐面積7ha</p>							計画		H24調査時点		備考	整備面積	うち間伐	整備面積	うち間伐	H9～13	145ha	57ha	165ha	117ha	実績	H14～18	220ha	154ha	128ha	101ha	実績	H19～23	113ha	87ha	162ha	162ha	実績
	計画		H24調査時点		備考																												
	整備面積	うち間伐	整備面積	うち間伐																													
H9～13	145ha	57ha	165ha	117ha	実績																												
H14～18	220ha	154ha	128ha	101ha	実績																												
H19～23	113ha	87ha	162ha	162ha	実績																												

3 事業を巡る社会経済状況等の変化

(1) 周辺環境の変化

①大台町では、平成24年度に第1次大台町総合計画後期基本計画を樹立し、「木材生産推進のための基盤整備」、「素材生産、加工、販売まで木材の一体的流通体制の構築」、「木材利用の普及啓発」、「特用林産物の生産など複合経営の検討」、「林業経営に対する社会的意識の高揚」、「森林立地評価を導入した森林経営の推進」を施策とし、森林、林業振興に取り組んでいます。

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

費用対効果は、前回1.93から、今回1.09となっています。

	前回	今回	増減
B(便益)	4,917,171千円	3,534,724千円	△1,382,447千円
C(費用)	2,546,812千円	3,229,771千円	682,959千円
B/C	1.93	1.09	△0.84

4-2 地元の意向

大台、大紀町では、当該林道が開設されることにより、森林の生産性の向上が図られ、適切な森林施業が行われ持続的に公益的機能の発揮が期待されます。

また、地域住民の生活環境の改善や、林業振興による地域活性化を図るうえで不可欠であることから事業継続を望んでいます。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

地形にあった波形線形の採用や、コンクリート擁壁工に替えて補強土壁工を積極的に活用し土工量の低減及び、路肩の縮減等によりコスト縮減を図ります。

5-2

当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外に代替案はありません。

再評価の経緯

《平成19年委員会意見》

事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。

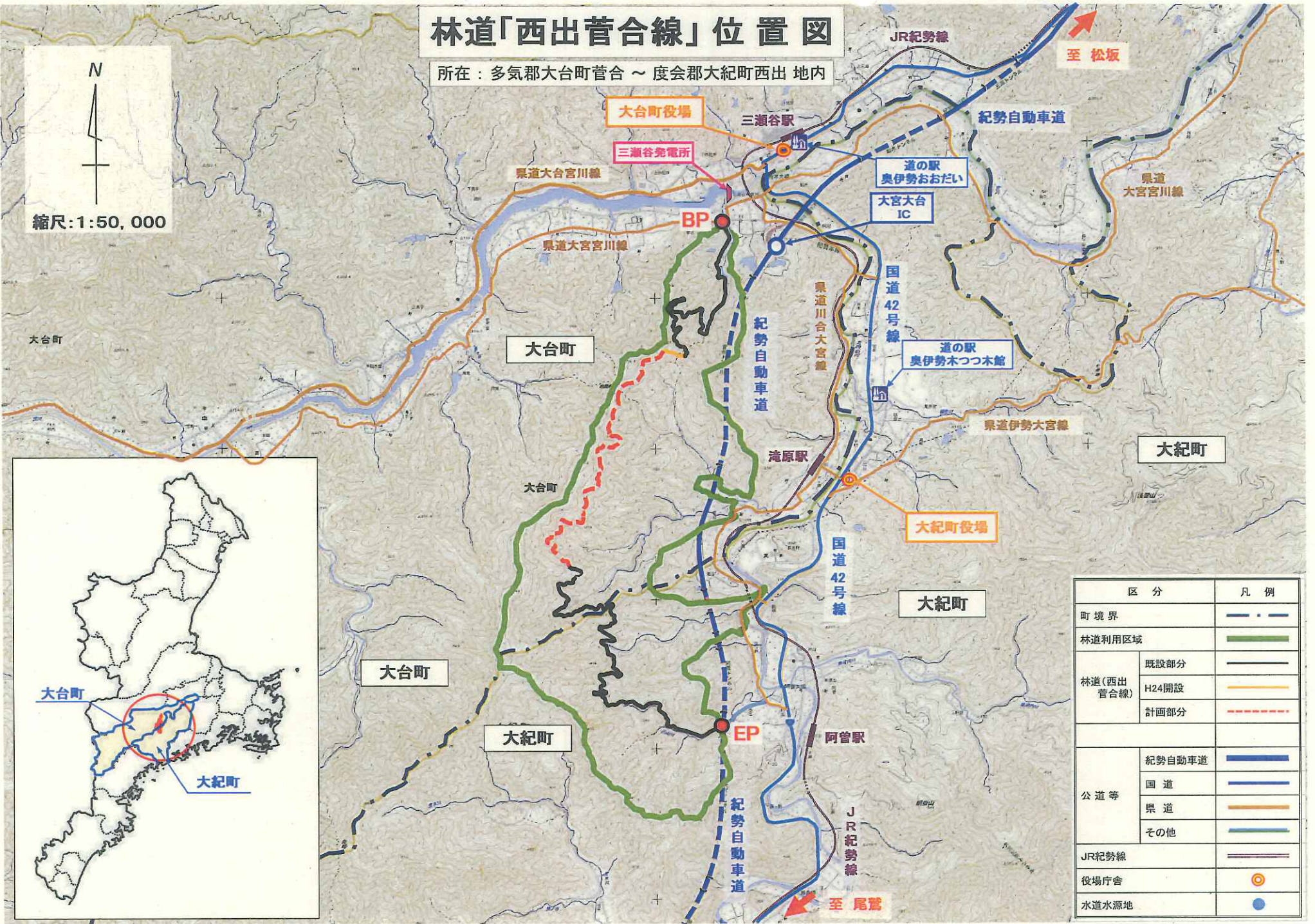
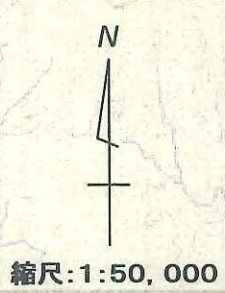
また、委員会では、「林道の費用対効果の説明において、森林整備経費縮減等便益の内訳についても説明及び資料の提出を求める」とのご意見をいただきました。

事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため、コスト縮減と環境配慮に努めながら、早期完成を目指し、事業を継続いたします。

林道「西出菅合線」位置図

所在：多気郡大台町菅合～度会郡大紀町西出 地内



区分	凡例	
町境界	---	
林道利用区域	—	
林道(西出菅合線)	既設部分	—
	H24開設	—
	計画部分	- - -
公道等	紀勢自動車道	—
	国道	—
	県道	—
	その他	—
JR紀勢線	—	
役場庁舎	○	
水道水源地	●	